

掲載元：奄美新聞社  
日付：11月12日(日)

## 未来へのメッセージ伝える

### 6 中高生「歴史風化させず」

復帰70周年記念式典



「復帰の歴史を風化させず語り継ぐことが私たちの責務」と話したルネサンス高校2年の元平結風さん(11日、奄美市名瀬)

11日に奄美市名瀬の奄美群島日本復帰70周年記念式典で、アト

ラクシオン(ステージイベント、余興)が行われた。「未来へのメッセージ」と題し群島各地の中高生が登場。戦前生まれの語り部たちへの取材を通し学んだ、復帰前の各島民の生活や奄美の様子を、平和への願いとともに発表した。

登壇した生徒は、奄美大島を代表して取材したルネサンス高校(通信制)2年の元平結風さんのほか、喜界中1年の堂免華穂さん、犬田布中1年の寛山若奈さん・芽奈さん姉妹、沖永良部高校1

年の勝男凌久さん、与論中2年の竹本恋さんの6人。群島各島の語り部たちと復帰運動や米軍政下の生活などを直接訪ねる映像が流され、次世代につながるメッセージを伝えた。

「世界中の子どもたちが、一日でも早く笑顔で過ごせる日々が来ることを願っている」と呼び掛けた元平さんは、奄美大島の語り部、吉見憲治さん(当時91)の元を訪問。「現在、新型コロナウイルス、少子化など新たな危機に直面しているが、今

度は私たちが困難に立ち向かい乗り越える番。復帰の歴史を風化させず語り継ぐことが私たちの責務」と話すとともに、「この歴史ある島に生まれたことを誇りに思う」と述べた。

大和村出身の麓若代さん(82)は「奄美市名瀬金久町」は美野久美江さん(78)は「同市名瀬朝仁」と参加。式典を振り返り麓さんは「(復帰前の)小学生の頃に参加したようにちん行列など思い出し涙が出た」と語り、美野さんは「戦争が起きている今の時代だからこそ、語りが残っている」と話した。